

神奈川県民医連・震災支援ニュース

NO.37 2011年4月11日 神奈川県民医連事務局発行 電話 045-320-6371 kenren@kanamin.or.jp

震災から1カ月が経過、現地・避難者ともに支援の継続を

この間、神奈川県民医連からは88名が現地に入りました。本日は川崎協同病院の看護師・川口さん、森さんが小名浜生協病院に支援に入ります。現地では民医連事業所のない地域での活動も始まっています。

被災地への継続した支援とともに、神奈川県内に避難されてきた方々への支援活動も行われています。今後、県連で状況を集約し、支援物資等の情報をお伝えします。対応に追われた1カ月を経て、長期的な支援体制へと移行し支援を継続していきます。

**神奈川県民医連に寄せられた義援金は、
1,000万円を超えました☆**

11,689,784円 2011年4月11日現在

引き続き、ご協力をお願いします。

■神奈川県民医連 義援金受け付け窓口■

【銀行名】三井住友銀行 【支店名】横浜駅前支店

【名義】神奈川県民医連 災害基金 事務局長 藤井 朗

【口座番号】7472438

※振込みは、法人単位でまとめてお願いします。

余震でせっかくまとめた薬袋等が落ちてきて…

薬剤師支援レポート（ファルマ・木村さんより）

（坂総合病院対策本部の）朝礼が終わり、帰途のバスの中です。朝礼では、今日から合流する7人の研修医が紹介されました。また、昨日から近隣10箇所の避難所が3箇所に統合されました。引っ越しの手伝いとともに、3箇所の避難所には引き続き民医連として医療支援に入ります。このバスで一緒になった看護師さんは、「避難所の医務室に2日間泊まり込んだ。48時間、夜もほとんど寝ることが出来なかった」とぐったりしています。

今日の薬剤師支援は5名。つばさ、病院、避難所に入ります。現地職員も通勤できるようになったので、4月末までの支援ですが、避難所での薬剤需要は多いです。医薬部外品、湿布、トローチも届けました。米を頼まれて持っていました。避難所の支援者に1日一回ご飯を出すようになったからでしょうか。近隣の薬局はほとんど閉鎖していて、その患者さんもきているようです。薬歴まではとれていません。

4月7日の余震の影響は大きく、宿泊しているクリニックは変圧器の故障で停電。3階以上は懐中電灯が必要となりました。節水もしていますので、トイレは病院に行きます。木曜日に復旧するそうです。昨夜も3回ほど地震がありました。余震が続き、片づけた薬袋等が落ちてくるなど不安な日々が続いています。

神奈川県民医連薬剤師支援は、3泊4日交代、引き継ぎノート活用で、今後8名の薬剤師が現地に行きます。

かもい洋子候補善戦・健闘 ご協力ありがとうございました

「公約・要求実現に向けて奮闘します」

統一地方選挙翌日の4/11朝。JR 関内駅前、かもい洋子候補が街頭でのお礼宣伝を行いました。

<4/10 神奈川県知事選挙結果>

かもい洋子氏 466,223 票

黒岩裕治氏 1,728,862 票

露木順一氏 821,981 票



神奈川県民医連のみなさま、かもい洋子候補へのご支援ありがとうございました。投開票の結果、新知事には黒岩裕治氏が就きます。神奈川県民医連も構成団体である「平和ですみよい神奈川県民主県政をつくる会」は、選挙戦を通じて訴えてきた「核も基地もない平和な神奈川県」の政策実現のために今後も引き続き奮闘します。